

着

mono 通信

yoroduya

2023・3 vol.54



原町本店
〒975-0003
南相馬市原町区栄町2-83
TEL:0244-24-2929

いわき店
〒970-8026
いわき市平三倉69-8 第2地産ビル1F
TEL:0246-85-5298

みなさまこんにちは！あっという間に3月です！3月といえば卒業シーズンということで、最近では卒園式や卒業式に着物を着られるお客様が、小物のコーディネート相談に来店されるケースが増えてきています。お着物はお母さまから譲り受けたものや、お嫁入の時に準備したものなど様々ですが、帯揚げと帯締めだけ変えただけでも、また新しい着こなしになるのも着物の魅力の一つです。もちろんご自身でお持ちの小物を持参して、どれがいいかなどの相談も大歓迎です。その時はお手数でも、着物と帯を持参していただくと、よりの確なアドバイスができ、お客様も納得のいくコーディネートに仕上がると思います。着物を着ていただけるだけでも大変うれしいので、お客様が素敵に装えるように全力でサポートさせていただきます！

さて、私の次女も3月めでたく大学卒業となります。もう授業料を払うドキドキもなくなり安心です。卒業式には袴姿の娘にいろんな意味で涙するかもしれません。まずはきちんと着付けしてあげないといけないので母としてというよりも着付師としてのプレッシャーの方がありますが...

忙しい3月も全力投球で頑張っていきましょう～！！

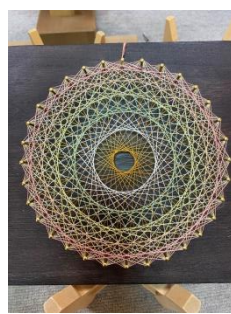
＜糸かけ曼荼羅(まんだら)ワークショップを開催しました＞

1月19日と20日の2日間、原町本店において「糸かけ曼荼羅ワークショップ」を開催しました！参加された8名の皆さんそれぞれに自分の好きな色の絹糸を組み合わせて素敵な曼荼羅模様を完成させました。



絹糸は小高で養蚕した繭から糸を取り、小高産の植物などで草木染したものを使用しました。糸かけ曼荼羅は素数の数ずつ糸をかけていくと、糸をかけ始めたスタート地点に必ず戻ってきて、幾何学模様が出来上がります。集中して一定のリズムで糸をかけていくのですが、初めての方でも簡単に取り組むことができました。夢中になって集中すると2時間もあっという間でした。

たくさんの絹糸から自分の好きな色を選んで、自分だけのグラデーションで曼荼羅模様を完成させます。写真左は参加した方々の作品の一部です。みなさん一同にまたやりたいとの声！今度はもう少し複雑な模様挑戦したいとのことでした。本当に楽しい2日間でした。



いわき店で
開催します！

よろづ屋 いわき店 ＜糸かけ曼荼羅(まんだら)ワークショップ＞

原町本店で大好評だった「糸かけ曼荼羅ワークショップ」をいわき店でも開催します！！

日時：2023年3月31日(金) ※各回4名様まで
時間：午前の部／10時30分～
午後の部／14時～ (2時間程度かかります)

参加費：お一人 1,800円 (材料費込)
持ち物：糸切りばさみ

※糸をかける台や絹糸はこちらで準備します

< にっぽんの色と文様～その3 弥生編～ >

日本の自然や文化から生まれた伝統の色や文様について一緒に学びましょう！

華やかに春を装いましょう！

春になると、淡い優しい色合いでパッと明るくしたいですね。



桃色(ももいろ)

春を彩る桃の花のような、ほんのり薄いピンク色が可愛いです。淡い紅色は、桃の花で染めたのではなく、紅花や蘇芳(すおう)を染料に使って、桃の花の色を再現しました。ほんわかした中にも春に向かうパワーを感じますね。



桜文は平安時代から梅に変わって春を代表する花となりました。「枝付きの桜」は、桜の咲く季節だけに着ることが出来ます。桜の満開になる少し前が良いとされています。また、「桜散らし」のように桜の花びらだけの柄は、いつでも着ることが出来ます。



桃文はモモの花や実を描いたものです。桃の節句にはなくてはならない植物で、災難厄除などの願いが託されています。花を描いた「桃花文」、枝と実を描いた「桃樹文」、実を描いた「桃実文」などがあります。

鳥の子色(とりのこいろ)

鳥の子とは、鶏の雛ではなく鶏の卵のことで、卵の殻の色を表現しています。淡くマイルドな黄色に薄い茶色が入っています。ちなみに、少し黄みのある雁皮(がんび)などを原料にした上質な和紙のことを「鳥の子紙」と呼んでいます。



若竹文は、その年に芽生えた新しい竹の事で、優しくしなやかな柔らかさを持った竹の文様です。竹の柄の文様は、縁起が良いとされており、天に向かって伸びる竹には成長への祈りを託すと言われていました。

着物のお手入れあれこれ

着物のお手入れはめんどくだし、お金もかかるし…など、着物は着たいけどお手入れのことまで考えると難しいと思っている方も多いと思います。めんどくなことにはプロに任せて、自分でできる範囲であれこれやってみませんか？知っておいて損はないお手入れのあれこれ教えます。

<お手入れその5 汗抜き>

汗抜きは、胸や脇、背などの汗が染みだしたところに水と洗剤をつけて生地の状態を見ながら超音波機器などで部分洗浄する方法です。着物を解かずに職人が手作業で行います。なので、お値段もそこそこかかってしまいます。洗い張りをせずに汗を落とせる方法の一つですが、ひどい汗ジミになっている場合などは、染み抜きと同様に手間もコストもかかります。汗は、水洗い以外では落ちませんが、洗い張りをするほど着用回数や年数が経っていない着物には向いています。また、汗ジミは着物の表だけでなく、裏にもついている可能性があるため、いろんな角度から点検してみましょう。汗ばむ季節は、汗ジミを作らない対策も必要です。下着などでできる対策もありますので、遠慮なくご相談ください。汗ジミができた時は、なるべく早くお手入れしましょう。

今月のおススメ！

～津田水引折型『knot』～
水引帯留め
4,400円(税込)



今月のおススメ商品は、水引細工発祥の老舗「加賀水引津田水引折型」の水引アクセサリシリーズ『knot(ノット)』の帯留めです。約1世紀前に、津田左右吉氏が日本で初めて鶴亀や松竹梅などの結びを創案し広めました。現在、5代目の津田六佑氏がその伝統を受け継いで制作しています。『Knot』は直訳すると「結び目」の意味です。本来、水引は日本の伝統的なラッピングです。相手を大切に想う心や感情を言葉だけではなく、ラッピングにより伝える日本の奥ゆかしいコミュニケーション文化が水引の本質です。今回は当店で色を指定し制作していただいた商品となります。色はレッド・シルバー・ゴールド・ベージュ・グリーン・ブルーの5色です。ブルーは高級水引素材の珠の緒カラーを使用しています。帯回りのアクセントにおススメの商品です。



…若女将のつづやき…

ご存知のお客様もいらっしゃると思いますが、我が家には16歳になるミニチュアダックスフンドの愛犬がおります。ここ1年くらいは、体調を崩すのが多くなり、何度も覚悟の時を重ねてまいりました。人間でいうところの80歳はとうに超えたのですが、まだまだ長生きしてほしいと老犬介護の日々を過ごしています。元からおとなしい性格の犬で、無駄に吠えたりはしゃいだりする犬ではないのですが、最近では眠っている時間がほとんどです。一日中留守にしているので、帰宅すると甘えん坊の子供のようにべったりで、抱っこしないと寝ないところもまるで赤ちゃんです。毎日少しでも一緒にいられる時間を大切に、最後まで愛情たっぷりにしっかりとお世話したいなと思っています。

